

さようならありがとうマイルッジ

20th

Anniversary & Final Run

昭和シェル石油-CAR GRAPHIC

マイルッジマラソン 20年の歴史に幕

去る10月28日(土)~29日(日)、三重県鈴鹿サーキットにおいて、第20回昭和シェル石油-CAR GRAPHICマイルッジマラソンが行われました。同大会は20回目となる今年でひと区切りをつけます。その最後のレースにかける、参加チームの皆さんのマイルッジマラソンへの熱い思いを鈴鹿からお伝えします(広報室)。

記念すべきラストランを制したのは初優勝チーム

今大会に全国から集まった出走チームは合計497チーム。各チーム様々な思いを胸に、最後となる鈴鹿サーキットの舞台は幕が開けました。

28日の公開練習では激しい雨が降り、視界も悪く、転倒するチームも出るなど、翌日の天気が気になりましたが、決勝当日は雨も上がりました。

午前の部では、毎年好成績をあげている「昭和第一学園機械研究部チャレンジャーA」チームが763.4km/Lの素晴らしい記録でジュニアの部優勝(総合順位2位)。未来のエコランナーに夢を託しました。

一般チーム主体となる午後の部では、毎年優勝候補に上がりながら、過去、優勝はしていなかった「チームベイント」が788.5km/Lという好記録で見事総合初優勝を果たしました。「最後の大会で優勝出来てとてもうれしい」と喜びを表現していました。また、今回はるばるフランスからディーゼル部門の世界記録をもつ「OPTIMA Racing」が特別参加。最後の大会に花を添えました。



20回ラスト大会を記念して、大会オフィシャルの記念撮影が行われた



埼玉県のメカ好きが会社員が結成した「チームベイント」が今大会で見事初優勝を飾った



青木草麻です！
私もライダーとして鈴鹿の一日を楽しみました！

カナルに全参加者を代表する思いが...

昭和四日市製油所チーム 「SYS自動車部」興奮、感動!!



金子取締役、新田中央研究所所長と記念撮影

「今年で最後となり残念ですが、この大会を心行くまでエンジョイしたい」と言うのは前号で寄稿記事を書いてくれたマネージャーの竹永さん。「完走が目標です。マイルッジは今回で最後なので悔いのないよう力いっぱい頑張ります！」とレース前の抱負を述べていた。

いざ決勝になると、出走した2台のマシンのうちの1台のチャェーンが外れて立ち往生、縮子が危ぶまれたが、なんとドライバーが初めて自分でチャェーンを修理し、立ち直り無事完走。感動のラストランを飾った。



フランスから特別参加「OPTIMA Racing」チーム

マイルッジマラソンが今大会で最後と聞き、ぜひとも参加したいと駆けつけたのがディーゼル部門で世界記録保持者(2364km/L)の「OPTIMA Racing」チームだ。実はこのチームは、広島県の「FANCY CAROL-NOK」と親交があり、彼らのカンパなどで今回来日することから、ドライバーのフィリップ氏は「公式練習でトラブルにたいし、記録は期待できなかつたが無事走らせてくれて」と話していた。



ドライバーのフィリップ氏とチームメンバーを囲んで(FANCY CAROL-NOKメンバーも交えてポーズ！)

マイルッジマラソン 最終大会決勝結果 ●入賞チーム

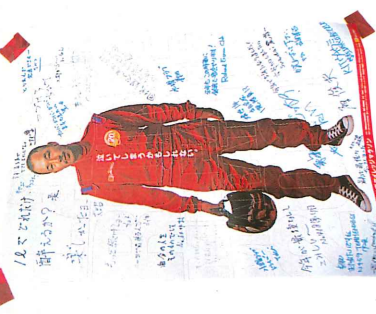
優勝	●チームベイント	788.5km/L
2位	●昭和第一学園機械研究部チャレンジャーA	763.4km/L
3位	●チーム“ヨイショット”ミツバ	753.9km/L
4位	●チームファイアボール	732.5km/L
5位	●水曜クラブ	713.0km/L
6位	●復活TORNADO	673.2km/L
7位	●富士エコランチーム白糸	672.9km/L
8位	●ゲトローベ	658.7km/L
9位	●紀北工業高等学校 生産技術部	649.7km/L
10位	●TEAM 10X II	648.2km/L



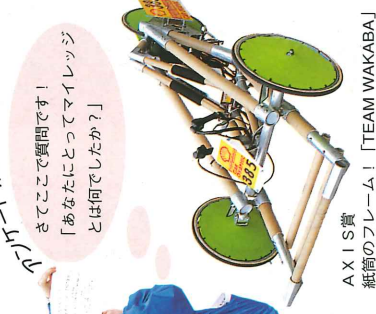
初大会から20回連続出場！
「TEAM LUCKY」
「今回は最後というのには寂しい気がするねえ」と語るのは今大会で選手宣誓をしたドライバーの高橋さん。「メンバーも初参加から同じで、同窓会がわりに集まってきた。これからもチャレンジング精神を忘れないでやっていくよ」と話してくれた。



技術賞
「TEAM200 (社) 鈴鹿青年会議所B」



アンケート集計係
マイルッジマラソンへの情熱と感謝は、参加者によって自発的に貼られたポスターに、寄せ書きとなって表れていた



AXIS賞
紙製のフレーム！「TEAM WAKABA」

マイルッジマラソン 最終大会 ●特別賞チーム

技術賞	●AUTO DE B-TA
スタイル賞	●TEAM200 (社) 鈴鹿青年会議所B ●チーム48 ●HIROSHIMA3 ●アヒルエコパレージング
JAF賞	●TEAM MASUDA ●Self-support
小野測器賞	●チームSQCJ ●全物屋ファミリーチーム
AXIS賞	●TEAM WAKABA
ジュニア賞	●昭和第一学園機械研究部チャレンジャーA
ジュニア敢闘賞	●紀北工業高等学校 生産技術部 ●昭和第一学園機械研究部チャレンジャーB ●千葉県立工業工業高校A
鈴鹿市長賞	●鈴鹿高専自動車部チーム青大将
学生優秀賞	●名城大学理工学部エコノパワー同好会
学生敢闘賞	●Team YaMANDA
大会会長奨励賞	●日産自動車整備専門学校 栃木 ●TEAM WILLY ●TEAM プーヤンとその仲間たち